



本郷台小 だより

11月

横浜市立本郷台小学校
令和5年10月31日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

みんなが主役！心を一つに さあ挑戦だ！

校長 原 南実子

10月21日（土）、「みんなが主役！心を一つに さあ挑戦だ！」のスローガンのもと、本校第49回運動会を無事行うことができました。今年度は感染症対策を考慮しながらも、ご家庭からの参観人数を増やし、多くの皆様に参観していただきました。また、学校運営協議会と地域学援隊の皆様をご来賓に迎え、4年ぶりに校庭で参観していただきました。皆様には子ども達への温かい声援や励ましをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとございました。

今年のスローガン「みんなが主役！心を一つに さあ挑戦だ！」という言葉は、どんな運動会にしたいか、どんな言葉を入れたいか、という子ども達の考えを、まずは各クラスで話し合い、その後それらの意見を代表委員会で話し合っつけられました。本郷台小の子ども達みんなの意見を吸い上げてつくられたこのスローガンは常に子ども達の心にありました。学年で練習するときも、一人ひとりがめあてを立てる時も、全校で練習するときも、また、応援団や運動会委員会、リレーや音楽隊の練習の時も、常にスローガンを意識して活動を進めていました。思いを乗せた活動の積み重ねが、スローガンの通りの姿を生み出していたのだと思います。子ども達は、一人ひとり精一杯やり遂げました。負けて悔しい思いをした子もいるでしょう。しかし、全力を出し切って挑戦したからこそ、これからの自分にプラスになるように受け止めたり、相手をたたえたりすることができていたのだと思います。子ども一人ひとりが「主役」となった運動会、そして、心を一つにして創り上げた運動会となりました。

運動会後の子ども達の振り返りの中から感じる子ども達の成長、来賓の方からいただいたお手紙から感じる、子ども達を支える温かいお気持ちをご紹介させていただき、皆様に感謝とお礼の気持ちをお伝えしたいと思います。子どもの振り返りは最高学年として全校をリードしてきた6年生のものです。

- ◆自分の組は、優勝は叶わず、という形になってしまいました。自分の応援の何が悪かったのかなあ、あの時どうすればよかったのかなあ、練習してきたことがなぜ報われなかったのかなあ、そう思って閉会式の時、少しだけ泣いてしまいました。とても悔しかったです。今まで練習してきたことが報われなかったから、これまでやってきたことは無駄だったのではないかと悩みました。悩み抜いて考えたことは一つ。やったことには必ず意味があり、力になっていくということです。ぼくは、勝負の結果として運動会では報われませんでした。たくさんの人を盛り上げることの難しさや盛り上げられた時の楽しさを学ぶことができました。悩み抜いて考えた「やったことには意味があり、力になっている」ということは大きな学びでした。これから、悔しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、楽しいことがたくさんあると思います。なので、運動会で学んだことは、これからの人生でとても大切になってくると思うので、日々の生活の中で意識したいと思います。
- ◆運動会を通して学んだことは、何かを成し遂げる楽しさです。仲間と一緒に成し遂げるってすごく楽しいと感じました。しかもそれを見て喜んだり感動したりしてくれる人がいると思うと、もっと素晴らしいものだと思います。6年としての役割もしっかり行うことができ、そのような面でも成長することができました。
- ◆チームとしては3位でしたが全力で運動会に臨むことができたので悔いはありません。本気を出してやり切ること、お互い敬意をもつことの大切さを学んだ運動会でした。みんなが応援してくれるといつも以上の力が湧いてくることも感じました。スポーツマンシップと応援の力の大切さをこれからも忘れずにいたいと思います。

◇祝！運動会 午後に用事があったので、少しだけ見るつもりだったのですが、あまりの面白さに最後までいてしまいました。子ども達の頑張りをみて感動！先生方の動きを見て感動！行ってよかったです。今朝の登校時、旗振りをしていて感じたのですが、子ども達の雰囲気が変わりましたね。一つの行事を協力してやり遂げた結果、今まで以上に仲良くなったのが伝わってきました。学校っていいですね！ありがとうございました！